

保健医療データ活用事業について

1 目的

保健医療データなどを活用し、県と市町村が連携して地域課題の分析や評価を行うことで、市町村が行う健康づくり事業について、より効果的な事業展開になるよう支援するとともに、県全体の未病改善、健康づくり施策のさらなる推進を図る。

2 事業内容

(1) 保健医療データの収集・分析等

平成 30 年度の国民健康保険制度改革を踏まえ、県に国保データベース（KDB）を導入し、国保データ、人口動態統計等、様々な保健医療データを収集・分析し、市町村へ提供する。

また、国保以外（働く世代）の特定健診データ等の収集・分析に向けて、各保険者と調整を進める。

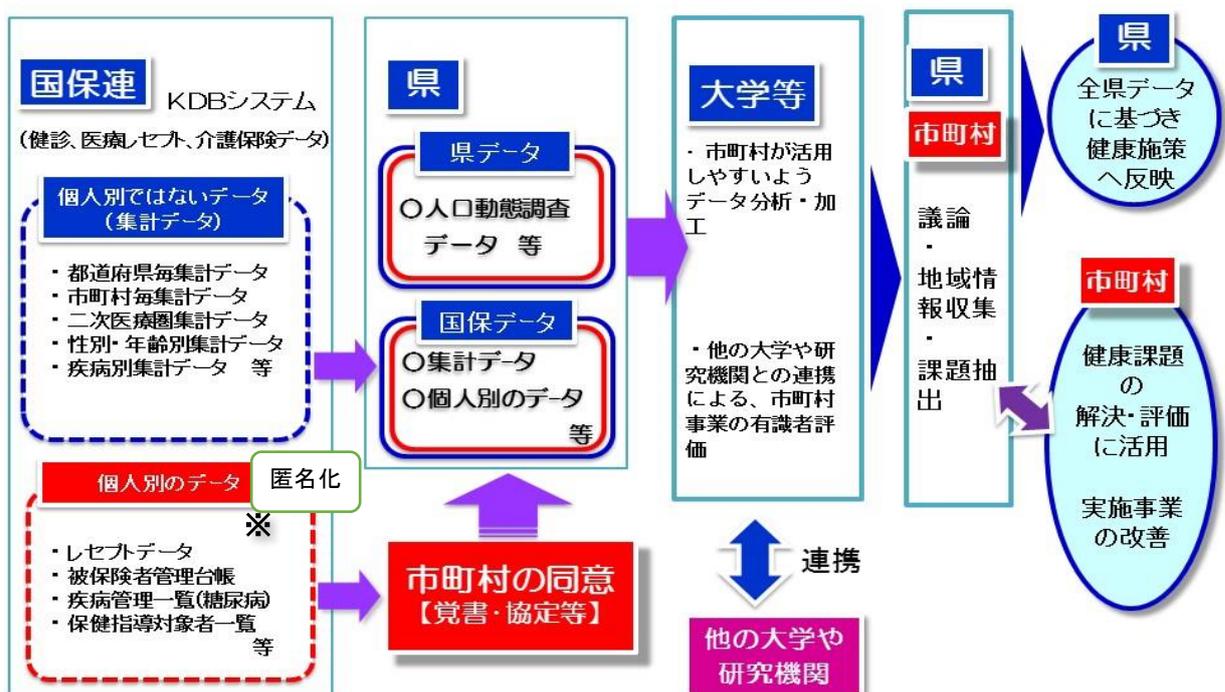
(2) 健康づくりのためのデータ活用

県と市町村が連携して、地域特性（食生活の状況、運動などの生活習慣）などを分析した上で、地域の課題を洗い出し、解決策を検討する場をつくる。

(3) 事業評価

市町村が実施する健康づくり事業について、市町村から希望を募り、専門家と共に事業評価を行う。

3 事業の全体像



※ 個人別のデータ（匿名化）については、今後市町村と調整し、同意を得た上で収集